

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0175800358		
法人名	株式会社 クオス		
事業所名	グループホーム ほのかの里 A棟		
所在地	夕張郡栗山町桜丘1丁目80		
自己評価作成日	平成28年2月21日	評価結果市町村受理日	平成28年3月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>ゆったりと楽しく自由にその人らしい生活ができるよう心がけています。</p>
--

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kan=true&JigrosyoCd=0175800358-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン		
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F		
訪問調査日	平成28年3月14日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>「グループホーム ほのかの里」は閑静な住宅地に立地している2ユニットのホームである。近隣に同一法人のグループホームとデイサービスがあり、合同の夏祭りには住民も参加して交流している。暖かい時期には周囲の散歩や事業所前の東屋でお茶を楽しみ、季節を感じながら馴染みの環境でゆったりと過ごしている。開設12年目に入り、毎年地域の神社祭りに参加し、地域の知り合いから声をかけられる事もある。昨年にA棟の管理者が交代し、B棟の管理者と相談しながら前向きの姿勢で取り組み、同法人グループホームと合同の運営推進会議を6回開催し、管理者が交代で会議のテーマを設定して学びを取り入れている。町内会役員の参加を得て避難訓練を行い、消防署から地震対策の指導も受けている。管理者は法人合同の研修会や外部研修に参加し、職員間で更に共有できるように検討している。受診は殆ど事業所が対応して各主治医の下で健康を管理し、受診記録は個人ごとに分かりやすく整備している。職員との意見交換を基に介護計画を見直し、モニタリング表で評価して更新計画を作成しており、職員は計画の目標を意識して日々の記録を行っている。長く勤めている職員が多いので、利用者や家族の安心感につながっている。食事を重視して彩りのある盛り付けなど、豊かで美味しい食事を提供している。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(A棟)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念はホーム内に掲示しています。その理念を意識しながら日々業務をしています。	いつも笑顔で、地域とともに、ゆったりと楽しく、との内容を理念に盛り込み、その人らしく過ごせるように実践につなげている。職員は業務の中で理念を意識しているが、更に理念の文言をケアに結び付けて、職員間で共有する機会を考えている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩をする際、ご近所の方とご挨拶したり、お話ししたりしています。	地域の神社祭りへの参加や散歩中に近隣住民と会話を交わしている。近くの同法人事業所合同の夏祭りには、町内会役員や介護養成校の学生がテント設営などの手伝いで参加している。利用者はカラオケなどのイベントを楽しんでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	改まってそのような機会はありませんでした。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的(年6回)運営推進会議を開催しています。	同法人グループホームとの合同会議には、管理者が交代で会議のテーマを設定している。認知症、事故対策、感染症の他、消防署員の「地震対策編」を基に防災の説明があるなど、有意義な会議になっているが家族の参加が得られていない。	入居の際、家族に会議への参加を促すとともに、会議案内にテーマを記載して全家族に送付することを期待したい。会議に参加できない家族の意見も得て会議の話題にし、会議内容が活かされるような工夫で全家族に議事録の送付を期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	電話や訪問、認定調査などで、役場の担当者の方とは密に連絡をとる機会があります。	運営推進会議で町の担当者から、認知症カフェ等の情報を得ている。生活保護担当者や介護認定調査員の来訪時には情報を交換している。町の研修会に参加した時は、資料の閲覧で職員も内容を共有している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行われておりません。玄関の施錠も日中は非常時以外せずに過ごしています。	業務や昼休み時間に、身体拘束をしないケアについて話し合い、職員は身体拘束禁止の具体的な行為11項目の内容を理解している。日中は玄関に鍵を掛けず、外に出たい様子がある時は観察して、利用者が分かるように説明し対応している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	御利用者様の自宅や事業所内で虐待があるという話は聞かれておりません。		

ほのかの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価(A棟)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	特に学ぶ機会はありませんでした。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時にご本人、ご家族に重要事項の説明を行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族が来訪された際に意見要望を聞いておりますが、遠方で来訪されないご家族からは十分に家族の意見を汲み取れていない感があります。	遠方や家族の事情で来訪頻度は少なくなっているが、毎月「ほのかの里」便りに写真と健康の様子を載せて報告している。意見などは特になく、遠方の家族の依頼で書類手続きを代行することもある。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃から意見や提案を発言しやすい雰囲気を作り、出された意見は極力反映できるよう努めております。	業務の中で職員の意見を取り上げてケアに活かしている。一度ミーティングを行ったが当日の勤務者しか集まらなかったため、現在は昼休みの時間を有効に使い、介護計画の見直しやケアについて意見を交換している。勉強会は課題になっている。	ミーティングは現状で可能な時間帯に行い、事前に全職員の意見を収集して行うことを期待したい。また外部研修に参加した職員が資料を基に伝達講習を行うなど、職員が共有できるような方法で深められるよう期待したい。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務表は各職員の声を十分に聴いてから作成しています。都合があればお互い様で臨機応変に勤務調整を行っており職場環境は悪くないと思います。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	今年度はノロウイルスの内部研修をしました。外部研修に何度か参加する機会がありました。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地元の同業者と合同職員研修会(年4回)を行って交流を深めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(A棟)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	新しい環境での生活はご本人にとって不安でいっぱいです。その気持ちに共感しながら安心できる関係づくりのために努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用前の見学を通じて家族との関係づくりもできていると思います。ご家族から要望があればすぐに反映できるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その都度必要な対応を行っています。特に他のサービス利用の必要は見られませんでした。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	テーブル拭き、もやしのひげ取り、洗濯物をたたむなど一人一人の能力に応じたお手伝いをお願いします。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎週、来訪されているご家族がいます。一緒におやつを食べながら親子の時間をすごされています。夏祭りやクリスマス会にはご家族に参加のご案内をしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご近所だったという方の面会があります。利用者様は懐かしそうにお話されていました。面会は自由ですので馴染みの人との関係は気付けていけるように思います。	数人の利用者に近所だった人の来訪があり、月1回以上来られる方もいる。町内会役員が近くに住んでいて、顔馴染みになっている。通院の度に病院近くにある自宅周辺を見に来るなど、気になることに対応している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	皆さんの輪の中に入っている感覚を、レクなどを通して持つ事ができていると思います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(A棟)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	具体的に相談、支援を行った事例はありません。個別に必要ながあれば応じて行いたいと思います。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	普段の会話を通じて、意向を把握できていると思います。	会話から希望を把握してケアに活かしている。基本情報に家族状況の変化などを追記することもあるが、6ヵ月毎に更新している課題分析の項目に本人の嗜好や趣味の変化なども追記し、現在の状態を把握したいと考えている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	普段の会話の中でどんな生活をしてきたのかお聞きしています。ご本人の歩んできた道に共感を持ちながらお聞きするよう心掛けております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の心身の状態の把握に努めています。特に認知症状の把握に努め心穏やかに過ごせるよう支援しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様の情報を共有できるよう日々の業務の中で務めています。各職員の声が介護計画に反映できるよう作成しております。ご家族では遠方に住むご家族からは十分に情報を得られていないという部分もあります。	職員との意見交換を基にモニタリング表で評価し、3～6ヵ月毎に更新計画を作成している。家族の来訪時に計画の内容を説明したり、郵送で同意を得ている。職員は介護計画の目標に沿って、サービス内容を意識しながら介護記録を行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	細かな事でも日々の申し送りをしています。それらを業務日誌や個別記録を記入し、勤務に入る職員が情報を共有できるように努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	御利用者様の状態に合わせて、その時その時に必要な柔軟な対応を行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近くの公園へ行く機会を作り、暮らしを楽しむ支援を行っています。また、地域の秋祭りなどに参加する機会も作っています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎週1回、訪問看護師に体の状態を見てもらっています。月2回の訪問診療を受けている方と地元の病院で受診されている方がおり医療を受ける機会を作ることができています。	利用者の7割は、かかりつけ医を継続して事業所で通院介助を行っているが、家族対応の方もいる。3割の方は月2回協力医の往診を受けている。「医療関係経過記録」に通院・往診を利用者ごとに記録して経過を把握している。	

ほのかの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価(A棟)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師と連絡を取りながら、身体的なケアを進めております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	地域の中核医療機関である栗山日赤病院とは馴染みの関係であり専門的な治療が必要なときは密に連絡を取り受診しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	「看取り」については、すべての御家族に意向を伺い、同意を得ております。この一年間で看取りの機会はありませんでした。	利用開始時に、重度化や看取りの考えを文章で説明する中で、食事が摂れなくなり入院治療が必要な事も説明して同意を得ている。飲み込みが出来るまではペースト状など、調理の形態を変えて可能な限りケアを行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	充分周知しているつもりですが、咄嗟のときに必要な対応ができるよう、定期的な訓練が求められていると思います。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練を行っています。	消防署立会いの下、町内会役員の参加を得て昼夜間を想定した避難訓練を事業所独自で行っている。職員は消防署からの「地震対策編」の資料を閲覧している。職員の半分は救急救命訓練を受講しており、継続して全員の受講を進めている。	「地震対策編」の資料を参考にし、初期対応や事業所内の共用空間や居室の危険箇所を確認するとともに、ケア別の対応を職員間で話し合うことを期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	御利用者様と関わる上では人生の先輩として尊敬の念をもち関わるよう努めています。心無い言葉かけをしないよう注意しています。	呼びかけは「さん」づけとし、法人の合同研修会で接遇を学んでいる。記録類は安全に管理し、打合せでイニシャルを使うなどの配慮をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様からのご希望や訴えがほとんどないのが現状です。ですので職員が気持ちをくみ取り意思決定することが多くなってしまいます。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の自由な気持ちをできるだけ尊重し極力無理強いはいないようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	清潔さを優先しながらもご本人に合う色合いの服を選ぶなどして、少しでもおしゃれを意識できるような支援を行っています。		

ほのかの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価(A棟)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好きな食べ物は何かご家族からお聞きして、お誕生日の献立に入れたりしています。いろいろ、盛り付けを工夫する、楽しく会話するなど楽しい食事の雰囲気作りに努めています。	彩りが豊富で、美味しい食事が提供されている。誕生日に好きなものを用意したり、手作りのケーキを作っている。利用者はもやしの髭取り、テーブル拭き、下膳などを手伝っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取量を毎日把握しています。摂取量の少ない方にはポカリスエット、コーヒー、アイスクリームなど口あたりのよいものを意識して提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを行っております。口腔内に異常が見られた際には、歯科医師と連携して治療しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定時のオムツ交換の方(全介助)、定時のトイレ誘導が必要な方など各利用者様の自立度に合わせた対応しています。	3分の1以上の方は自力でトイレに行くことができ、排便・排尿チェック表をもとにパターンを把握している。夜間もほとんどの方はトイレで排泄でき、状況に応じてベッドで排泄用品の交換を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	下剤も服用しますが、できるだけ自然排便ができるようジュース、お茶、ヨーグルトなどを提供しています。またラジオ体操、レクリエーションなど体を動かす関わりをしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴剤を使用するなどして、入浴を楽しめる支援を行っております。失禁された方はシャワー浴で不快感のないよう対応しています。	日曜日以外を入浴日として午後を中心に各利用者が週2回の入浴を行っている。入浴剤を使ったり、会話を楽しみながら入浴している。必要に応じて2人での介助も行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	休みたい方には休んで頂けるようご本人の生活リズムに合わせて対応しています。また介護度が重度の御利用者様には離床時間を決めてリフレッシュして頂いています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	何のための服薬かスタッフ間で情報を共有していません。症状に変化があれば訪問看護師やかかりつけ医に相談しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の生活の中で、もやしのひげとり、テーブル拭き、下膳、洗濯物を畳むなど随時手伝って頂いています。		

ほのかの里

自己評価	外部評価	項目	外部評価(事業所全体)		
			自己評価(A棟)	実施状況	実施状況
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の希望があれば、出かける機会を作っています。ご家族が気分転換にとドライブに連れ出される方もいます。	日常的に周辺を散歩したり、事業所前の東屋で休憩している。年間行事では栗山公園での花見や、神社の秋祭り、白鳥見物、夕張での紅葉狩りに行っているが、片方のユニットは昨年外出行事をあまり行えなかった。	両ユニットともに、利用者が楽しめる外出行事を計画的に行うことを期待したい。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理を出来る方がいないのが現状です。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族から電話がきたとき、ご本人にも電話に出てもらいます。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	騒音もなく夜間も静かな環境です。家庭菜園を作り、室内にも植物を飾り季節を感じています。ホーム内に西日が強く入りますが、まぶしいと感じればカーテンを締めるなどの配慮を行っています。冬は乾燥しないよう加湿器の設置、各部屋に濡れたバスタオルをかけています。	共用空間には利用者の写真や塗り絵、手作りの装飾などが飾られている。居間が広く、ゆったりとしたソファが置かれ、庭に面した窓も大きく、開放的で居心地のよい空間となっている。明るさや温度、湿度なども調整され快適に過ごせるよう配慮されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	多くの時間は皆さん、居間で過ごされています。その時の気持ちに応じて自分のお部屋で自由に過ごす事もできます。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人、ご家族にとって馴染み家具や思い出の写真を部屋に置いています。	室内には備え付けのロッカーたんすとベッドがあり、利用者が自由にたんすや鏡台、椅子など馴染みの家具を持ち込んでいる。壁にもカレンダーや家族の写真、時計などを自由に飾り付けしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に暮らせる建物だと思います。		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0175800358		
法人名	株式会社 クオス		
事業所名	グループホーム ほのかの里 B棟		
所在地	夕張郡栗山町桜丘1丁目80		
自己評価作成日	平成28年2月21日	評価結果市町村受理日	平成28年3月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>入居者様それぞれがマイペースでゆったりと日々過ごして頂けるようにスタッフ一同取り組んでおりま</p>

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kan=true&JigrosyoCd=0175800358-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン		
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F		
訪問調査日	平成28年3月14日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(B棟)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	スタッフ一人一人が理念を理解して日々の業務に当たっております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議や非難訓練等で地域の方に参加頂いております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	改まってそのような機会はありませんでした。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度は年6回。2ヶ月に一度のペースで行っております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議に参加頂いております。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行っておりません。玄関の施錠も夜中以外はしてありません。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	御利用者様の自宅や事業所内で虐待があるという話は聞かれておりません。		

ほのかの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価(B棟)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	特に学ぶ機会はありませんでした。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時にご本人、ご家族に対し十分説明をしております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族が来訪された際に意見要望を聞く機会があります。何か要望があった際には直ちに会社へ伝え対応しております。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃から意見や提案を発言しやすい雰囲気を作り、出された意見は極力反映できるよう努めております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修が行われ、参加する機会は何度かありました。内部研修も行われました。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	今年度は地元他社との合同研修会が年4回行われました。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(B棟)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人の生活歴などを参考にしつつ、一人一人が安心できる関係づくりのために努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時にご家族様からお話しを伺い、問題があれば解決に向け対応しております。また、日々の面会時等にもコミュニケーションをとり良好な関係作りに努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その都度必要な対応を行っています。特に他のサービス利用の必要は見られませんでした。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	料理のお手伝いや洗濯物を畳むなどの、日常的な作業に参加して頂く機会を作り、生活に参加している意識を作る努力をしています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様は定期的に来訪され、本人の様子を見て、お話しされたり、外出されたりしております。また、夏祭りやクリスマスの際には参加のご案内をしております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	来訪などによって、馴染みの人との関係は築けていけているように思います。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	合う方、合わない方の個人差がありますので席順等には気をつけております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(B棟)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	お亡くなりになられ退去された方のご家族が、近くに来た際には寄ってくださる方がおります。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	普段のコミュニケーションを通じて意向を把握しております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご本人ご家族より聞き取り、普段の会話より把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人に合った過ごし方が出来るように努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成担当者がそれぞれの介護職員から御利用者様の情報を聞き取りをして作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌や個別介護記録を記入し情報を共有しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	御利用者様の状態に合わせて、その時その時に必要な柔軟な対応を行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	公園や季節を感じられる場所などへ行く機会を作り、暮らしを楽しむ支援を行っております。また、地域の秋祭りなどに参加する機会も作っています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主に皆様栗山赤十字病院に定期的に通っております。また、訪問で歯科受診も行っております。		

ほのかの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価(B棟)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回看護職員が来ますので、今後のケア等について相談しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	皆様定期的に栗山赤十字病院で受診しており、常に健康状態を診て頂いております。入退院の際にはその都度病院側と連携しております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時にご本人、ご家族に対し十分説明をしております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	日頃より職員間で事故の際の対応について話し合いをしており、迅速な対応をしております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練を行っています。		

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様一人一人に合わせた声掛けをしております。こちらの言葉使いには気をつけております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様一人一人の思いについては日頃より聞き取りを行っております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人がマイペースで日々生活しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	日頃から身だしなみには気を付けております。外出前にはご自身に着る服を選んで頂いたりしています。		

ほのかの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価(B棟)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様一人一人の好み、嫌いな物を把握しております。また、お稲荷さん作りなど出来る時はお手伝いをして頂いております。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取量を毎日把握して、意識的に水分が取れる支援を行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人一人に合わせた口腔ケアを行っております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	介助が必要な方については、一人一人の排尿の感覚を把握し、時間毎に声かけを行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の排便パターンを把握しております。受診時に医師とも相談して薬の調整を行っております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	ほぼ全員が入浴拒否ですが色々工夫をして何とか週2回のペースで入浴して頂いております。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	皆さん十分に休息できていると思います。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬について、職員全員で理解し、飲み忘れや間違いがないようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	御利用者様それぞれの楽しみを把握しております。それぞれの方に合わせて退屈しないように支援しております。		

ほのかの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価(B棟)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	B棟に関しましては、現在自ら外出を希望される方はおりませんが、年間の行事として外出したり、ご家族等のご協力も頂き外出をされる事もあります。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	該当される方は現在はおりません。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	東京に居る息子様と週1回のペースで電話される方が1名おります。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日の清掃により常に清潔であるように注意しております。トイレに関しては日々何度も汚れていないか確認します。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	皆さん居間で過ごされたり、お部屋で過ごされたり、自由にされています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具や衣服など、極力本人の馴染みのものを使用できる工夫をしております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	常に考えております。必要であれば即会社と連携し対応しております。自室に手すりを付けたたり、絨毯を剥がしたり等々		

目標達成計画

事業所名 ほのかの里

作成日：平成 28年 3月 28日

市町村受理日：平成 28年 3月 30日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議へご家族の参加を促す呼びかけが弱い。	運営推進会議を定期的で開催し、ご家族の意見をサービス向上に活かす。	入居時、ご家族に運営推進会議の説明と参加を促す。会議案内を全家族に送付し、会議に参加できない家族には議事録を送付する。	1年
2	11	運営に関し職員意見の反映させるミーティングを充実していく。	スタッフ間の意見交換の場を作り情報の共有をする。	昼休みの時間を利用するなどスタッフ会議の時間を作り意見交換をする。外部研修に参加したスタッフは資料を回覧し研修内容を他スタッフに伝える。	1年
3	35	災害時(地震)における避難方法などの初期対応が各スタッフに習得され、地域との協力体制を作る。	全スタッフが消防署の指導を共有し、救急救命訓練を全スタッフが受講できる。	災害時の初期対応と事業所内の共有空間、居室などの危険箇所を全スタッフが把握する。排泄時、入浴時、就寝時などケア別対応をスタッフ間で話し合う。救急救命訓練講習に参加する。	1年
4	49	外出が計画的になされていない。	利用者が楽しめる外出計画を立てる。	日々の散歩や花見、神社祭り、紅葉狩りなど外出を計画的に実施する。	1年
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。